

# 家族

山田洋次監督作品



©1970 松竹株式会社

監督・原作／山田洋次 製作／三嶋与四治・小角恒雄 脚本／山田洋次・宮崎晃 撮影／高羽哲夫  
音楽／佐藤勝 美術／佐藤公信 録音／小尾幸魚 調音／松本隆司 照明／内田喜夫 編集／石井巖 衣裳：東京衣裳  
出演／倍賞千恵子・井川比佐志・笠智衆・前田吟・渥美清 他

2020.9/11 金 11:00/14:30/19:00 (本編上映時間106分) ※開場は各上映開始の15分前。  
アクア文化ホール (豊中市立文化芸術センター 中ホール)

とよなか山田会 Presents 特別篇 各回本編開始10分前よりプレトーク付き

## チケット【全席自由】

一般 ¥1,000 (club CaT ¥900)  
ペア ¥1,800 (club CaT ¥1,600)

※障害者割引あり。障害者とその介助者は2割引。  
※障害者割引の取扱は、文化芸術センターチケットオフィス電話・窓口、  
ローズ文化ホール窓口のみ。  
※車いす席をご希望の方は文化芸術センターチケットオフィスにお問合せ下さい。

チケット  
発売日

## club CaT 先行

2020年7月2日(木)～7月8日(水)

※WEB・電話のみ受付。初日は10時より開始。  
※先行期間中の窓口での直接販売はございません。

## 一般発売日

2020年7月9日(木)

※初日は10時より窓口・WEBにて受付開始。電話は同日15時から。

主催：豊中市市民ホール指定管理者

# 日本を代表する映画監督・山田洋次による、ドキュメンタリー風の異色作。 1970年を舞台に長崎から北海道を目指す、貧しい家族の物語。

## 各地をオールロケーションで撮影した、珠玉のロードムービー。

長崎県の小さな島を離れ、北海道の開拓村まで旅する一家の姿をオールロケーションで撮影した本作。ちょうど50年前の1970年。2025年に同じく大阪で開催予定の万博がまさしく開催中。一際人が集まる都市として大阪の姿が映し出されます。他にも長崎の島の貧しくも静かな景色、広島の大規模な工場地帯、大阪の地下街、東京の雑踏など実際の光景が記録されています。その中を貧しい一家が旅することにより、高度経済成長期の日本の社会状況が浮かび上がります。一方で、最終的にたどり着く北海道の場面では特にロングショットが多用され、北の大地の厳しさとともに、豊かさが強調されます。本作は1970年のキネマ旬報ベストテン1位に輝くなど、山田洋次監督の代表作の1つとなりました。今回は35ミリフィルムでの上映。南北に広い日本の情景の多様さをぜひ劇場でご堪能下さい。



## 家族の物語に血を通わせる役者たちと、実際に暮らす人々とで生み出すリアリティ！



冒頭の島での自然な暮らしぶりから、実際の家族の暮らしを垣間見ているような本作。一家の大黒柱でかつ粗野な面もある夫を演じる井川比佐志、その父を演じる穏やかな佇まいの笠智衆。名優揃いですが、本作で特に印象的なのは、倍賞千恵子演じる民子でしょう。子どもや老父を健気に思いやる一方、半ば嘘をついて北海道へ向かう資金を調達したり。代表作の「男はつらいよ」のさくらとはまたひと味違う、芯のつよい女性として描かれます。目的の牧場に着いた際の、安堵や喜び、疲労が混じった表情も印象的です。また各ロケ地では、区役所の窓口職員や酪農家など、その土地に暮らす人々を本人役で起用する事も。プロの俳優でない人々の身に馴染んだ仕事ぶりも、本作の雰囲気作りに大きく作用しています。加えて、渥美清・前田吟ら山田監督おなじみのキャストが登場し、本作に華を添えます。短い登場シーンもどうぞお見逃しなく！

## あらすじ

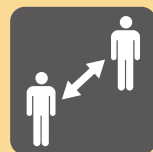
長崎の伊王島。貧しいこの島に生まれた民子と精一は結婚して10年。幼い子ども2人と老父を含めた家族5人を養っていくことに限界を感じた精一は、自分の会社が潰れたのを機に、1970年春、友人が勧めてくれた北海道の開拓村への移住を決心する。

当初は精一だけが移住するはずが、民子の説得により、家族全員で移住する事に。次男夫婦の家に移ることになった高齢の父も加わり、一家5人で列車を乗り継ぐ旅が始まる。次男の勤める大規模工場がある広島、万国博覧会開催中の大阪、大混雑の東京・上野、そして東北本線と青函連絡船を経て、やっとたどり着くのは長く厳しい冬が続く北の大地。

現代では考えられないほどの時間をかけ北へ向かい、思わぬ出逢いと別れを経験した一家にも、やがて新たな春は訪れる—。

## ご来場の際の 注意事項

ご協力いただきますよう、  
お願い申し上げます。



### 【チケット購入・公演のお問合せ】

豊中市立文化芸術センターチケットオフィス 06-6864-5000  
(10:00-19:00) 月曜・年末年始 休館  
オンラインチケット <http://www.toyonaka-hall.jp/ticket/>

### 【プレイガイド】

ローソンチケット (Lコード 51521)  
豊中市立ローズ文化ホール窓口 (10:00-19:00 | 火曜休館)

とよキネマポイントカードつくりませんか？ | 6回見ると  
※各上映会時にホワイエにて受付します。 | 1本ご招待！



### 豊中市立文化芸術センター

〒561-0802 豊中市曾根東町3-7-2

阪急宝塚線「曾根」駅下車  
東へ約300m(徒歩約5分)

※駐車スペースは限られております。  
ご来館の際には、電車・バスなどの  
公共交通機関をご利用ください。